

■**広沢真臣** 志士、政治家。木戸孝允と並び、<維新>時に長州藩閥を代表する存在となったが、直後に暗殺された。

ひろさわさねおみ

天保大飢饉始1833= 萩城下に萩藩大組士柏村安利の四男に生まれる。

**大塩平八郎乱**1837= 4歳：

天保改革弾圧1842= **9歳**：

天保改革終・1844=11歳：波多野直忠の婿養子となり、

**阿部正弘首座**1845=12歳：

**尊徳報徳論**・1851=**18歳**：\_御前警衛を命じられ、

**ペリー来航**・1853=20歳：\_先鋒隊に編入されて、大森台場警衛のために出張。

開国開港・・1854=21歳：\_帰萩。

安政大地震・1855=22歳：\_藩主毛利敬親を警衛して、江戸に行き、

松下村塾・・1856=23歳：\_帰萩。

**安政の大獄**・1859=26歳：\_家督を相続した。蔵元検使、軍制詮議用掛経て、

**桜田門外変**・1860=**27歳**：

**遣欧使節**・・1861=28歳：\_大検使役、

生麦事件・・1862=29歳：\_有備館用掛等を歴任し、\_実務官僚として成長しつつ、尊王攘夷派に接近。

8月18日政変 1863=30歳：\_当役手元役、用所役用取計兼任。外国艦砲撃に際して下関に出張後、蔵元役本役、

禁門の変・・1864=31歳：\_\*広沢と改姓後、<四国連合艦隊下関砲撃事件>のち和平交渉を担当したが、<第一次長州征討>のもと、保守派の政府が成立して、野山獄に投げられる。

**薩摩藩士密航**1865=32歳：\_\*積され、用所役国政方として藩政指導の中心の一人となり、広島に出張して幕府訪問使と応接。

薩長同盟・・1866=33歳：\_<第二次長州征討>戦の政治指導にあたり、厳島において勝海舟と応接、休戦協定を結んだ。

大政奉還・・1867=34歳：\_山口において、木戸孝允とともに大久保利通と会談し、薩長出兵同盟を締結、派遣されて広島藩と出兵のことにつき交渉、ついで上京し、討幕の密勅をうけて帰国した。<王政復古>で新政府ができると上京、

**明治維新**・・1868=35歳：\_参与を経て、徴士となり海陸軍務掛・内国事務掛をつとめる一方、遷都論を主張。

戊辰戦争終・1869=**36歳**：\_\*薩長土藩士よりなる丸山会議に出席して版籍奉還の計画をすすめ、東京行幸に供奉、その後、民部大輔となり参議に任ぜられ、木戸とともに長州藩閥を代表する存在となり、

初の日刊新聞1870=37歳：\_民部・大蔵が分離されるや、岩倉具視・大久保とともに民部省用掛を兼ねたが、

廃藩置県・・1871=38歳：\_\*東京麹町の私邸において暗殺された。